

* 幸せのじかん *

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの タネまき 新聞

No.560

鮎の友釣り〈高知県・四万十川〉

日本屈指の清流『四万十川』。沈下橋や里山を背景にゆったりと流れるその姿は、人々を魅了し続けています。初夏から秋にかけては、鮎を狙って多くの釣りが訪れる季節。おどりの鮎に針をつけ、縄張り意識の強い野鮎に体当たりさせて引っ掛ける、『友釣り』という独特の釣り方で天然の鮎を狙うのが醍醐味だそうです。

〈時間は同じ〉

修学旅行で大阪に來られて
いる新潟県の中学生四人が、
企業訪問活動で「社長から学
ぶ」というテーマを持ち、ダス
キン本社に訪問されました。
私が中学生の時は観光名所を
巡りその地域の文化に触れる
ような修学旅行だったと記憶
しているのですが、時代も移り
修学旅行も変わったと感じる
とともに、中学生との対話にも
興味があり、今回の依頼を受
けました。

事前に質問内容が届き、当
日はその内容に沿って「仕事を
する上で支えになっていること
は？」「私たちが今やっておか
なければならぬことは？」な
どのインタビューを受けまし
た。相手が社会人ではなく中
学生なので、専門用語はでき
るだけ使わず理解しやすい言葉
を選び、身近な事例を交えて
約一時間対話しました。

私が社会人になってから中
学生と仕事について話をする
のは初めてで、普段気付かな
かったことも知る機会となり
ました。生徒と私とは人生
経験に違いはあっても、一日の
時間に差はなく、今日この時を
どれだけ有意義に過ごせるか
の積み重ねが大切だと実感し
ました。

緊張しながらも一生懸命に
インタビューしメモを取る姿は
新鮮で、年を重ねても「人生は
常に学び」ということを改めて
考える機会を中学生からいた
だきました。

四万十川の苔を食べて育った
天然鮎は香りが高いことで有名



株式会社ダスキン社長

山村輝治



秋田県湯沢市 笈形町
おいなたちよう
えびす俵が
くれた笑顔



写真協力: 島山守司さん

緑がまぶしい初夏の湯沢市。町を守っているわら人形の神様「鹿嶋様」は全長3m近くある



のびのびと広がる田園風景ととうとうと流れる「雄物川(おものがわ)」。その向こうには名峰「鳥海山(ちょうかいさん)」の美しいシルエットを望む豊かな自然に包まれた町・秋田県湯沢市。謎多き美女「小野小町」の生誕地と言われていることから「秋田美人の里」としても知られています。ここに昭和初期まで銀山で栄えた集落・笈形町があります。閉山後過疎化が進み、元気のなく



写真協力: 秋田県活力ある集落づくり支援室

町を練り歩いた「えびす俵」の一行が地元の鎮守様「降木(ふるぎ)神社」へ到着する頃にはすっかり日が暮れている

なっていたこの集落に最近、笑顔の集まる日が増えました。

集まればはじまる。はじまれば広がる。

はじまりは、平成23年初夏。若い担い手にうまく引き継げず、途絶えてしまっていた伝統行事「えびす俵」を復活させようという声があがったのです。

「えびす俵」は秋田県南部一帯に伝わる祭りの習わしで、秋の豊作を祈つてこへいやお面で飾った米俵を担いで、歌いながら町中を練り歩いた後、鎮守様に奉納するというもの。きつかけとなつたのは、県の「活力ある集落づくり支援室」の呼びかけでしたが、執り行うとなつてからの住民の団結は見事なものでした。「みんなは、なえも言わねなだども、だまつてればねぐなつちやうな、ちゆう気持ちはあつたなだびよん。もう一回やってみよがつて言った時は、あー、えがつたなあつて」と言うのは同集落、内町の会長・佐藤さん。奉納するえびす俵作りも佐藤さんのお宅で始まりました。準備には集落の人々に加え、市外に住む大学生までもが参加。人が集まれば宴会が始まり、宴会が始まれば話が盛り上がりといった具合に「えびす俵復活」の話はあちこちへ広がり、祭り当日には県外へ出ていた人達までも戻ってくるほどに。小さな町が久しぶりに笑顔でいっぱいになりました。



「幸せな風景」を紹介してくれたみなさん

「えびす俵」の会

えびす俵を作り、担いで練り歩くのは男性陣。俵飾りの小物を作ったり宴会の料理を準備する女性陣。何をするのに息の合ったメンバーです

秋田県湯沢市 笈形町
幸せな食べ物 × 幸せな風景



宴会は手料理を持ち寄って

この大成功を機に元気を取り戻した町の人々は、春の花見、夏の草刈り、秋のえびす俵に加え、昨年新たに冬のイベント「かまくら祭り」を開催。冬空に一段と大きな笑顔の花を咲かせました。「楽しみを覚えればまた楽しみを作ろうと思う。笑顔があれば笑顔が集まる」。笑顔の作り方、喜びの伝播を笈形町の皆さんに教えていただきました。

お米のスイーツ
こざき練りの作り方

秋田県南部の郷土料理「こざき練り」。こざきとは砕けた米のことで、昔は売りに出した後に残るくず米を使って作ったのだそう。甘酸っぱさが食欲を刺激してくれるので、夏バテで体調が優れない時などにおすすめです。



材料 (約5人前)

うるち米	120cc
もち米	60cc
水	500cc
砂糖	150g
酢	20cc
塩	2g

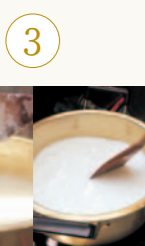
【トッピング】
きゅうり 適量
季節の果物 適量
(いちごや缶詰のみかん、桃などがおすすめ)



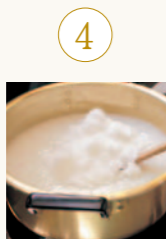
1 うるち米120cc、もち米60ccを洗い、3時間ほど水に浸けておく。柔らかくなった米をすり鉢に移し細かく砕く。(ミキサーなどで碎くと糊状になるので注意)



2 少し粒が残る程度に砕いたら、水500ccを加え、鍋に移す。



3 鍋を火にかけ、かき混ぜながら中火で20分程度煮詰める。(焦げつかないうち注意)



4 とうろこになるまで煮詰めたら、砂糖150gを2回に分けて加え、さらに酢20ccと塩2gを加える。さらに5分ほど加熱し、火を止める。



5 火から降ろしてあら熱をとる。冷蔵庫に入れてよく冷やし、器に盛り付け、きゅうりや好みの果物などをトッピングする。

「幸せな食べ物」の作り方を教えてくれた人



郷土料理に詳しい大沢佐代子さん。地元では「こざき練り」でテレビ出演するほどの名人。

門倉多仁亜の 丁寧暮らし

第一話

生活のリズムのつくり方

日々の忙しさに流されて、「あなた自身の時間」の大切さを忘れていませんか？
なにげない日常を丁寧暮らしすることこそ、人生を有意義に過ごすコツ。シンプルでありながら豊かな暮らしふりて人気の門倉多仁亜さんと一緒に『丁寧暮らし』について考えてみませんか？

はじめまして

みなさん、はじめまして門倉多仁亜(たにあ)です。今回から連載させていただきますことになりました。よろしくお願ひします。

私はドイツ人の母と日本人の父の間に生まれ、小さな頃から日本、ドイツ、アメリカなど住まいを転々とした。母がドイツ人なので家

の中はドイツ式でしたが、外ではさまざまな文化に触れたので、それぞれの良いところ悪いところを感じながら暮らしてきました。それに興味を持ってくださった方々に聞かれるままに話をしていくうちに、暮らしについての本を書いたり、いろいろなメディアで紹介してくださったりするようになり、今回もこのようなご縁をいただきました。私の経験が少しでもみなさんのお役に立てればと思っております。

早起きが叶えてくれること

みなさん、夏バテしていませんか？この時期は、夏休みでいろいろな行事やレジャーがあつて生活のリズムが崩れがちだと思います。そこで今回は、生活のリズムについてお話しします。

母から学んだメリハリ

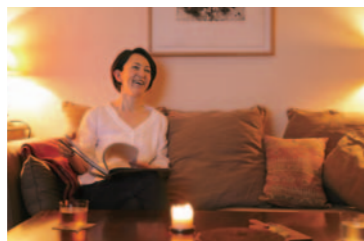
私の母は逆に、早起きが苦手なので、朝、焦らなくてもいいように夜のうちに朝食のテーブルセッティングをするのが日課でした。ドイツ人は規則正しく暮らす国民性を持つていて、メリハリをつけるのが上手です。わたしの母も仕事をしていますが、お客様の都合がどうであれ、自分が休みだと決めた日は休みます。「水曜日しか無理なんです」とお客様にお願ひされても「そう、残念ね」と断ります。私はかなり日本人気質なのでそこまではキツパリとはできないのですが、母を見習って日曜日だけは休むと決めています。

何もしない覚悟

ドイツは日曜礼拝の名残で、今でも日曜日はほとんどのお店がお休みです。そうすると、「どうせ、どこへ行つても何もできない」と思つて諦めがつくので、とても解放感があつてリラックスできるのです。だから、日曜日はそういう気持ちで、買い物はせず、食事は家にあるもので済ませる。散歩に出るくらいで、それ以外は家で過ごす。日本はとても便利だから、いつでもどこでも何でもできてしまうので難しいですが、休む日は覚悟を決めて何もしない。日々の生活においても、休むと決めた時間には、とにかく仕事をやめて休む。日本人の場合、自分は休み時間でも、仲間の仕事が残っていると手伝おうとしますよね。それは日本人の良いところだとは思いますが、結果的に効率が悪くなる。突然、全てを変えるのは難しいと思いますが、休むと決めた時間は意識して何もしないように心掛けてみるのもいいのではないのでしょうか。



休みの日はご主人との大切な時間。よく2人で散歩を楽しむ



夜はリラックスの時間。ご主人と2人だけなら、ランプスタンドとキャンドルの間接照明だけでも十分

Profile

門倉 多仁亜さん (かどくら たにあ)

1966年生まれ。料理研究家。「ル・コルドンブルー」でル・グラン・ディプロムを取得し、帰国後に始めた料理教室が人気に。現在は東京を基盤に月に一度、自宅のある鹿児島へ帰る暮らしを楽しんでいる。著書に『タニアのドイツ式部屋づくり』(発行:SBクリエイティブ)などがある。



ドイツにて小学校入学

料理研究家
門倉 多仁亜さん



ご主人が起きたら、一緒に食事をしてからベッドメイキング



夜は片付けずに寝て、使ったグラスや雑誌などは朝、片付ける



まず、窓を開けて風を通し空気を入れ替える

ほほえみのひろば



浜辺

秋田県大仙市 清水秀子

孫たちが夏休みに入り、次男・次女家族と20余年ぶりに「田沢湖」にて涼を求めた。

夫が逝って10年目。自営の飲食業を一人で続けて、今年で56年。ゆっくり心身を休めることもなく、必死で過ごしてきた。

思いがけない子どもたちからの誘いに、神秘的田沢湖は穏やかな湖面で私たちを迎えてくれた。小学生4人の孫と、喜寿を吹き飛ばして童心に戻った一日であった。

岸辺にはピンクの「昼顔」が咲き乱れて、湖上、天空の白雲の陰に夫の笑顔が浮かんでいた。孫たちの打ち水が私の全身にかかり、嬉し涙が一緒に流れた。楽しい一日の思い出、ありがと。

＊とてもステキな一日を過ごせましたね。



夫婦喧嘩？

富山県射水市 田所てる子

好き嫌いの激しい夫は、会社の食堂には食べるものがないと、40年ずっと手作り弁当を持参。

まあ、申し訳ありませんが、時々は残り物を利用することも。そんな中、初めて忘れてしまいました。

保温ジャーの3段重ねには、みそ汁・ごはん・おかずを入れます。みそ汁が温まっていなかったので後にしようと思ったのですが、まったく忘れてしまい、そのまま手渡ししてしまいました。

すると、帰ってきた夫が、会社の人に「今日は夫婦喧嘩をしたので、みそ汁が入っていないの？」と笑われてしまったと。そんなことないのにごめんなさいね。これからは気をつけるからね。

＊ご主人の大好物は愛妻弁当。間違いなし。



朝のあいさつ

群馬県桐生市 越村ヨシ子

私は膝痛で家にこもりがちになり、娘が心配して車いすを買ってくれました。娘は風のない日に散歩に連れて行ってくれ、あちこちの家のお花を眺めています。

初めは車いすに乗るのが恥ずかしかったけれど、最近はとても楽しくて、朝、人に会うたびにあいさつをしようと決めました。知人はもとより、知らない人にも「おはようございます」と声をかけると、あわてて返事をする人、人違いかなという顔をする人。子どもに「いつてらっしゃい」と言うことにこっと頭を下げる。何回か繰り返すうちに先に声をかけてくれて、「頑張ってるね」と返すと笑顔が見える。

家にこもっていても味わえない楽しみ、朝のあいさつは気分がいいですね。娘にも感謝です。

＊あいさつって気持ちいいですね。



だれか食べた？

兵庫県太子町 黒田紀子

娘が、「優ちゃん、またおもしろいこと言った」と教えてくれた。

優は、私の5歳になる初孫である。私の家から帰る途中、車の窓からお月さんが見えたらしい。満月ではなく、少しかけている月だった。

「ママ、だれか月を食べたんちがうん。きつと口ケツトに入っている人やで」。

なんとおもしろい発想。本当にそう思って、真剣に話すから不思議。

大人なら、月なんか食べられるはずないやんと一蹴するだろう。孫の感性に思わずびっくり。

＊ホントに子どもって天才だと思います。



引っ越し

岐阜県中津川市 丹羽いつ子

今の地へ引っ越してきて18年になります。長女が小6、次女は小2、長男は2歳の時でした。

引っ越してきて少し落ち着いた頃、慣れない土地に「あーあ、ここに引っ越してきて失敗だったかな」という私のぼやきに、当時小6の娘から「お母さん、何言ってるのーお隣が両方ともものすごくいい人で、こないいいことはないに。場所や物を変えられても、人は変えれんのやに」と言われ、本当にそうだと、これぞ目からウロコのひとつでした。

いい人たちとの出会いで、支えられ、助けてもらい、本当に有難いと感じる18年でした。娘の言うたとおりで、忘れられないひと言です。いいご縁に感謝！

＊お嬢さんの気丈さにびっくりです！



お土産

宮崎県延岡市 村田チドリ

小学校6年生の孫(男の子)が2泊3日の修学旅行に行きました。

旅行より帰ってきたその夜、わが家に電話があり、「チイちゃん(私のこと)、ついでの時で良いので僕の家に来て」と。

翌日、娘の家に行きましたら、5センチ四方の小さい袋を主人と私にと、2つももらいました。帰って袋の中を開けて見ましたら、水族館で購入した指輪でした。

私たちが結婚指輪をしていないことをちゃんと見ていたのです。指にはめると体温で色が変わり、健康状態がわかるキレイな指輪でした。

孫の優しい気持ちがとても嬉しく、涙が出るのをぐっとこらえました。この優しい気持ちを大人になっても持ち続けてほしいと思いました。

＊もしかしたら結婚指輪より嬉しいかも。

燈々無尽

美しい心

ほめ合うことは、

すばらしく美しい花です。

他の人のよさを見つけ出せる人は、それだけ自分の心も

美しい人なのです。

夫婦でほめあう、妹が兄をほめる、

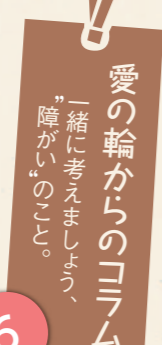
まして下積みの方が、

上役をほめるし、お役目上、上になっている人が、

下積みの方を苦しめる人をほめる。

すばらしい事です。金では買えない愛情を、

大切にしよう！ 鈴木清一



6



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

目を閉じて電車に乗れますか？

あなたは目を閉じて電車に乗れますか？



「一緒に考えましょう、障がいのない。」
「ママ、だれか月を食べたんちがうん。きつと口ケツトに入っている人やで」。
なんとおもしろい発想。本当にそう思って、真剣に話すから不思議。
大人なら、月なんか食べられるはずないやんと一蹴するだろう。孫の感性に思わずびっくり。
＊ホントに子どもって天才だと思います。
いいご縁に感謝！
＊お嬢さんの気丈さにびっくりです！
翌日、娘の家に行きましたら、5センチ四方の小さい袋を主人と私にと、2つももらいました。帰って袋の中を開けて見ましたら、水族館で購入した指輪でした。
私たちが結婚指輪をしていないことをちゃんと見ていたのです。指にはめると体温で色が変わり、健康状態がわかるキレイな指輪でした。
孫の優しい気持ちがとても嬉しく、涙が出るのをぐっとこらえました。この優しい気持ちを大人になっても持ち続けてほしいと思いました。
＊もしかしたら結婚指輪より嬉しいかも。
美しい心
ほめ合うことは、すばらしく美しい花です。
他の人のよさを見つけ出せる人は、それだけ自分の心も美しい人なのです。
夫婦でほめあう、妹が兄をほめる、まして下積みの方が、上役をほめるし、お役目上、上になっている人が、下積みの方を苦しめる人をほめる。すばらしい事です。
金では買えない愛情を、大切にしよう！
鈴木清一

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎ 06-6821-5270 <http://www.ainowa.jp/>

あなたのお便りや写真をお寄せください。

みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

ゆかたが
似合う盆踊り



北海道豊富町
小林友勝さん

ママまで
やっと
たどり着いた!



千葉県松戸市
伊藤裕子さん

おひさまに
ピース!

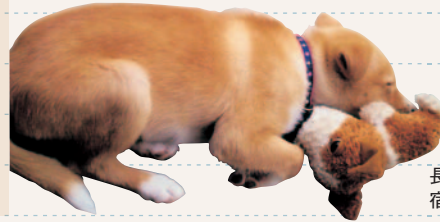


福島県矢祭町
和田タイ子さん

みて
も
ら
お
!

見てうれし、見せてうれし。
あなたのお気に入りの一枚を
送ってください。

ぬいぐるみは
友達
ZZZZZ



長野県佐久市
宿岩定子さん

芋掘りの
あとの
ひとやすみ



埼玉県飯能市
松下妙子さん

No.419からのバックナンバーが
下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

デー・デュ・エト
Duet
DUSKIN MEMBERS SITE

ダスキンがあなたにお届けする
便利でおトクな
使える情報サイトです。

アクセスはコチラから

dduet

<https://dduet.duskin.jp/>



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒564-0051

大阪府吹田市豊津町1-33 株式会社ダスキン 広報部

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp